

1.次世代につなぐ里山を目指して



鬱蒼として薄暗い放置里山林



整備され木漏れ日が入る明るい里山林

グループ名：里山守り隊

メンバー紹介(50音順)

石井由起子、石原清、雑喉良、寺本孝子、内藤マサヨ、藤本靖子、山川瑞子

2.里山をテーマの対象に参集した里山守り隊7人衆



里山を源流とする伊川



管理が不十分な里山を流れる伊川



シカに剥がされた樹木の根

3.フィールドワーク重視の活動経緯

実践活動を通じて現状把握し、問題点を解決する

～書を捨て里山に出かけよう～

フィールドワーク重視の主要な活動経緯					
No.	日付	活動内容	場所		
5	17/9/20	あいな里山公園高畑園長講義①～⑥	あいな里山公園会議室		
6	17/10/8	武庫川ウォッチング	武庫川上流部 JR藍本～草野		
8	17/10/24	兵庫県森林林業フォーラム2017	神戸芸術センター、生田川公園他		
10	17/11/18	里山公開講座	宝塚ホテル		
15	18.3.3	あいな里山公園かいぼり	あいな里山公園 盆処西池		
17	18.4.8	春・身近な自然観察会	かがやきの森/東地区		
28	18.8.11	あいな里山「獣害とジビエ料理」	あいな里山公園		
37	18.12.12	ガオー制作会	石井宅・		
46	19.4.19	生きもの守り隊と合同川調査	中白川他明石川水系上流部		
51	19.7.12	ホタルについて講義	山手大学		

4.フィールドワーク①

- 武庫川ウォッチング 他の団体の観察会にも参加し研鑽を深める
- 武庫川下流部でのアユの遡上観察及び上流部の藍本周辺でのいきもの調査に参加
- 森(里山)は海に恩恵をもたらすと同時に被害も与える



国道2号線武庫川下流の堰堤と魚道 武庫川上流部の藍本付近の様子 森は海の恋人

5.フィールドワーク②

- 里山林を有効利用した象徴的なクヌギの菊炭(茶道に使用する高級炭)
- 燃料革命後の里山林をどのように活用するか
- かまど御飯で食育と里山の大切さを次世代に伝える



台場クヌギ(川西市黒川地区)



クヌギが育って生産された菊炭



早く美味しいご飯が食べたいな

6.フィールド学習③ 「獣害問題」を考える 増え過ぎたシカ、イノシシを捕獲して適正管理し、 ジビエ料理で有効利用する。 学校給食にもジビエ料理を取り入れる。



イノシシの蒐場(ぬたば)



モンスターウルフを模した『ガオー』



ジビエ料理に挑戦

7.フィールドワーク④

かいぼりに参加し生物多様性を考える

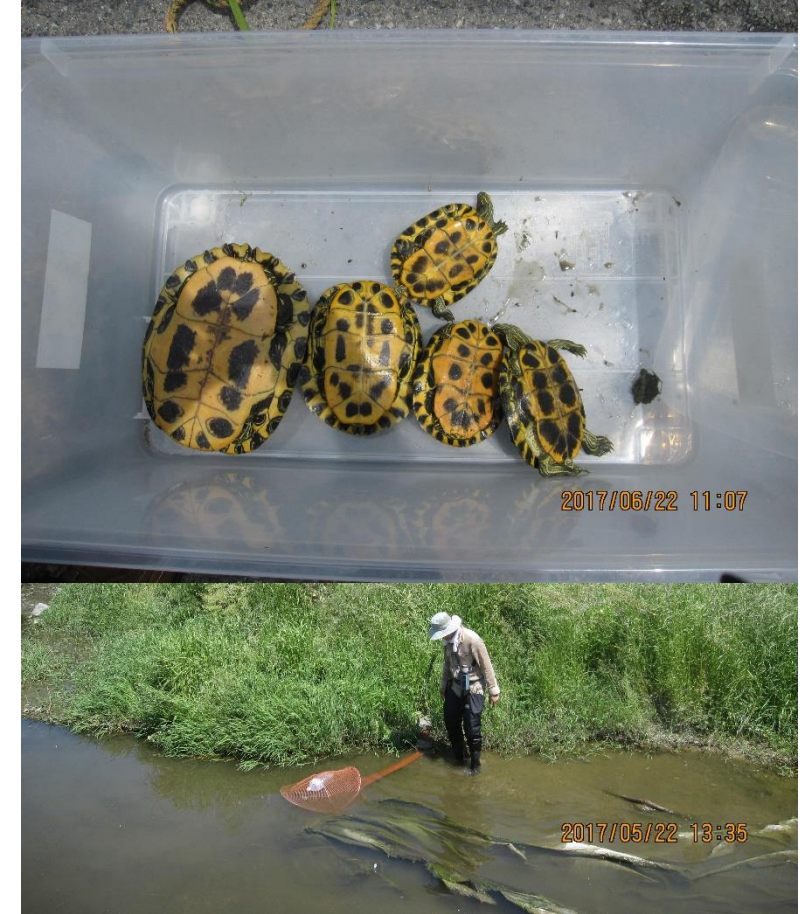
- 1.かいぼりの本来目的はため池のひび割れ点検、改修にある
- 2.最近では外来種駆除対策として脚光を浴びる
- 3.2と相まって生物多様性の貢献に一役買う



ため池のかいぼり



厄介なアメリカザリガニ



外来種アカミミガメの捕獲に効果

8.フィールドワーク⑤

竹林や放置林の伐採・間伐に挑戦

(1) 伐採で林床が明るくなり、下草復活で植生の多様化が復活

(2) 切り出した竹をできるだけ有効に活用する



伐採に先立つ樹木選定



ボイラー燃料は竹チップ



竹パウダーの製造工場



竹製品の一例



竹の伐採作業

9.フィールド学習⑥

ホタルが乱舞するような環境づくり

- (1) 今年6月にホタルの乱舞は水害の影響で見れず
- (2) 諦めずに地道な活動続ける



ホタルの人工飼育施設を前に

山手大学吉岡先生の講義を聴く



水路でカワニナの生息調査をするも

見つからず

10. 里山をもっと知るために

～まずは身近な里山から～



可憐なササユリ

採って嬉しい収穫体験

(1) あいな里山フレンズとしての活動

(2) 都市住民とあいな里山の絆を深めよう

11. 私たちの展望と提言

生物多様性：人々に潤いと郷愁を与えてくれる里山のすばらしさ

NPO法人等の先進的取組やユニークな事例をヒントに

里山活性化：
都市住民と農林業従事者の
交流及び里山への資金還流を！

